

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

弁護人蓬田武、同鹿土源太郎、同井本良光連名の上告趣意のうち、憲法三七条一項違反をいう点は、記録を調べても、第一審裁判所にその公平を疑わせる証跡は認められないから、所論は前提を欠き、その余の点は、事実誤認、単なる法令違反、量刑不当の主張であつて、いずれも刑訴法四〇五条の上告理由にあたらない。

よつて、同法四一四条、三八六条一項三号により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五一年十一月一七日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	岸	盛	一	
裁判官	下	田	武	三
裁判官	岸	上	康	夫
裁判官	団	藤	重	光